

MISSION : 世界宣教は 神の思いに適う社会の実現を目指す

世界宣教は主イエスの願いです

「わたしには、この囲いに入っていないほかの羊もいる。その羊をも導かなければならない。その羊もわたしの声を聞き分ける。こうして、羊はひとりの羊飼いに導かれ、ひとつの群れになる。」(ヨハネ10,15-16)



「世界が一つの民となる」主イエスの願いを実現させるため、世界宣教が行われています。教皇フランシスコはカトリック教会の先頭に立って、あらゆる機会をもって世界のすべての人に話しかけておられます。

また、福音の宣言と共に、今の時代において世界宣教に欠かせない重要な側面について、教皇フランシスコは信徒の関心と真剣な協力を呼び掛けておられます。カトリック新聞は、随時、教皇様の話を紹介しています。

広い視野で世界の現状を見つめ、それぞれの立場で世界宣教の役務を果たせるように、教皇が強調する福音宣教のいくつかの重要な側面を思い起こしましょう。
(カトリック新聞引用、及び他のマスメディアより私訳)

● 世界環境保護、みなの家を守るために

教皇フランシスコは5月24日付けで、「ラウダート・シ」というタイトルの新回勅を発表しました。自然の創造主への賛歌で、人類全体の家である地球の生命を守るための呼びかけです。キリスト信者が先頭に立って、神の素晴らしい智恵と力によって存在する宇宙と地球のあらゆる生物と動物、そして人類のいのちを育てている空気、海、川、湧き水、森林、木々、花等をすべて愛し、きれいなまま守る運動を起こしたい。新回勅の熟読をお勧めします。

「地球がひどく傷ついているのですから、私たちは皆の幸せについて考え、話し合いを進めなければなりません。」

「人間は神様の作品を保護するという大切な使命を持っています。(中略)エコロジーは毎日の単純な行為によって実現されます。」

「この星に住む人々の多くは神様を信じています。それなら、さまざまな宗教が、自然を保護し、貧しい人々を助け、尊敬と兄弟愛の仲間をつくるという点で話し合いを始められるはずです。」



キリスト信者の生き方と行いを通しての宣教

「キリスト者自らの生き方と行いを通して、信仰が人を利己心から他者への思いやりに突き動かすことを示さないなら、福音の力を誰にも伝えられない。(中略)

まさにこの問題だらけの世界に、イエスは私たちを送っているのです。見て見ぬふりをしたり、私たちに解決に必要な手段がない、または、問題が大きすぎるなどと言い訳したりしてはいけません。私たちの応答は、イエスの叫びを繰り返し、恵みを受け入れ、一致を築くため働く事です。」

(7月7日、エクアドル)

人間のいのちと人格の尊厳

「常に最も大切であるべき、人間一人ひとりの尊い命と人格が十分に守られていないから、現在、重大な危機に直面しています。

特に貧しさをまとっている者、障害を背負っている者、何の役にも立たないと思われがちな高齢者や胎児の存在は、その危機にさらされています。」



経済の福音化

残念ながら国際社会を支配しているのは人間ではなく、「お金」なのが事実です。人間性を守る倫理的ルールを持たない財政界や経済界は、自己利益追求の基準のみで人間社会を支配しているからです。「神様は「お金」にはなく、人間に、男と女のわたしたちに、地球を守り支配する責任を委ねたのです。しかし、私たちは今、利益追求主義、消費主義、及び不用品処分主義の犠牲者となっています。」

この破壊的うずを認識するキリスト者は、財政・経済界にも通用する福音的ルールが確立されるように懸命な働きかけをしなければなりません。

キリスト者は「橋を架ける人」

まず、キリスト教徒内の対話

教皇フランシスコが、「キリストを信じる人は橋を架ける人だ」と指摘したうえ、まず、世界各地において、教派を超えてキリスト教徒は和解と一致を具体的に推進するように、カトリック信徒に求めています。

文化・思想・宗教間の対話

教皇は、すべての隔たりを乗り越えて、異なる言語、文化、思想や宗教の人々と誠実な対話を推進する事をカトリック信者に強く求めています。



「戦争は人間の仕業です」

教皇ヨハネ・パウロ二世は、「戦争は人間の仕業です」と指摘した上、平和の実現も、対話、和解とゆるしのみによって可能だと教えています。

原爆投下70周年の日に、教皇フランシスコは次のメッセージを発信しました。「この悲しい原爆投下の日は、私たちに祈りと平和の実現に向けた勢力を促し、世界に兄弟愛と人々との間の平和的共存への機運を広めるように求めています。あらゆる所で声をつなげた叫びが上がりますように。戦争と暴力に『NO!』。対話と平和に『YES!』。

戦争に打ち勝つ唯一の方法は、戦争をしないことです。」

教会の MISSION のために祈る

恵み豊かな神よ
あなたは教会が
全ての人々の救いの秘跡となり
キリストのわざを世の終わりまで
伝えることを望まれました。
全世界の教会も
あなたの望みに応えることができますように
光りと力を注いでください。
福音に出会う恵みを与えられたわたしたちが
重荷と労苦を
背負うすべての人々と共に
キリストから与えられた
喜びと希望を分かち合い
あなたに向かって
歩んでいくことができますように
主 イエス・キリストによって。
アーメン。

